

次郎長富士 (1959)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 105分
初公開日 1959/06/02

【解説】

ご存じ清水次郎長の物語を、大映のオールスターキャストで描いた豪華娯楽時代劇。「若き日の信長」でコンビを組んだ八尋不二と森一生がそれぞれ脚本・監督を務めている。翌年には同じスタッフ・キャストで「続次郎長富士」も制作された。

火祭で賑わう秋葉神社で暴れた清水次郎長は、神域を血で汚したためお尋ね者になってしまう。次郎長の身を案じる妻お蝶は、森の石松とともに次郎長を追って旅に出ることに。次郎長は行く先々で弱きを助け、徐々にその名声を上げていくのだった。この後、吉良の仁吉の荒神山の血煙り、森の石松の金毘羅代参、そしてクライマックスの黒駒の勝蔵との富士川原での決戦と、次郎長伝の名場面が繰り広げられる。

【クレジット】

監督 森一生
製作 三浦信夫
企画 浅井昭三郎
脚本 八尋不二
撮影 本多省三
美術 内藤昭
音楽 斎藤一郎
出演 長谷川一夫
市川雷蔵
京マチ子
若尾文子
山本富士子
勝新太郎
根上淳
鶴見丈二
本郷功次郎
船越英二
黒川弥太郎
中村玉緒
林成年
品川隆二
滝沢修
小堀阿吉雄
清水元

伊沢一郎
本郷秀雄
杉山昌三九
荒木忍
香川良介